

いしかりちほん

自治労の底力、今こそ発揮

政治反動に抗し、強固な運動展開を

自治労北海道本部は、2月6日、第54回臨時大会を開催、春闘方針、当面の闘争方針をはじめ、第46回衆議院議員選挙中間総括及び第23回参議院議員選挙闘争推進、都市交との統合など、重要な課題について提起を行い、全体で闘う方針を確認、改めて組織の結束を呼びかけた。

冒頭、山上執行委員長は挨拶で選挙闘争に触れ「12月に行わ

れた衆議院選挙については、超短期決戦となる中、残念ながら

ら厳しい選挙結果となった。自治労としても、18人の組織内衆議院議員がわずか2人になり、参議院議員4人を加えても

6人に激減した。労働組合としてのたたかいはどうだったのか、組合員の思いはどうだったのかなど、

総括議論はこれからしっかりと行っていかなければならない」と述べ、政権を失い政治的な影響力の低

下により、今後よりいっそう政治反動による攻撃に対抗していかなければならないことを強調した。

この大会では、当面する重要な課題として、春闘に向けて特に国公賃削減を地公に反映させない取り組みや、厳しい闘いが想定される第23回参議院選挙闘争、札幌・函館市が対象となる都市交との統合に係る基本事項等が全体で確認された。

発行
2013年3月4日
13-5号
〒060-0806
札幌市北区北6条西7丁目
自治労北海道本部内
石狩地方本部
村上 真仁
TEL:011-747-1880

石狩地本はいはらさんを推薦しています

あいはら くらみこ

【プロフィール】
1947年北海道生まれ。86年民間勤務を経て、01年札幌市非常勤職員。03年自治労北海道本部執行委員長、07年自治労中央執行委員。07年参議院議員選挙全国比例区で当選。



多くの課題解決に向け、団結ガンバローで氣勢を上げる 石狩地本代議員団 = ポールスター札幌

運動の推進 町村の職場から

今年度で34回目となった全国町村職総決起集会が、2月22日、東京都日比谷公会堂で開催され全国から多くの仲間が集まった。

石狩地方本部は今年度の集会上、町村連長谷川幹事(当別町職)を中心として5名を派遣した。前段、日比谷公会堂での出発集会を皮切りに、大きなシュプレヒコールを叫びな

がら、力強くデモ行進を行い、途中、衆議院および参議院の前で要請行動を展開した。また、集会終了後は、今年7月の選挙を控えるあいはらくらみこ参議員および組織内のえさき

2月11日、北海道教育会館で「第36回紀元節復活反対2・11道民集会」が開かれ、約200名が参加した。今回の講演は「日本型(民主主義)の迷走」と題して、薬師院仁志・帝塚山学院大学教授が講演

『民主主義』正しい認識必要

たかし参議員の事務所を訪ねて激励した後、選挙へ向けた共闘を確認した。

集会に参加した長谷川幹事は、「国公の給与削減に伴い、地方自治体の給与削減が求められているという緊急事態の中、町村連に結集する我々から運動を推進し、団結して立ち向かうという姿勢を持たないと、それこそなし崩しのようになってしまう恐れがあり、非常に厳しい状況の中で闘っていないといけない春闘であることを痛感させ

た。念が横行している。」と指摘、「勝ち負け」ではなく合意形成を、国民も含め、合意形成をすすめるという民主主義を正しく理解する必要があることを強調した。



たかし参議員の事務所を訪ねて激励した後、選挙へ向けた共闘を確認した。

集会に参加した長谷川幹事は、「国公の給与削減に伴い、地方自治体の給与削減が求められているという緊急事態の中、町村連に結集する我々から運動を推進し、団結して立ち向かうという姿勢を持たないと、それこそなし崩しのようになってしまう恐れがあり、非常に厳しい状況の中で闘っていないといけない春闘であることを痛感させ

られ、非常に有意義な集会だった。」と参加後の感想を語った。

書記局から
愛車がブチ壊れてしまいました。専従期間に相当働き使ったからでしょうか。でもポンコツ乗りはめげずに次のポンコツを物色しています。(む)

国会訪問であいはら参議員を激励する石狩地本参加団